

(西暦) 2015年9月14日

片肺低・無形成を合併した先天性気管狭窄症の診断、治療のため 当院に入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた臨床研 究に対するご協力のお願い

研究責任者 所属 外科 職名 副院長
氏名 前田 貢作
実務責任者 所属 外科 職名 部長
氏名 横井 暁子
連絡先電話番号 0787326961

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、小児外科 横井暁子までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

西暦2008年1月1日より2014年12月31日までの間に、外科にて、片肺低・無形成を伴う先天性気管狭窄症の診断、治療のため入院し、気管形成術を受けた方

2 研究課題名

片肺低・無形成を合併した先天性気管狭窄症に対して、大動脈前方でのスライド気管形成術の有効性の検討

3 研究実施機関

外科

4 本研究の意義、目的、方法

片肺低・無形成を伴った先天性気管狭窄症の患者さんの、気管形成術後の死亡率の報告は18%から65%と高く、治療が大変困難な難しい病気です。治療が難しい要因の一つとして、片肺低・無形成の患者さんは心臓が肺のない側に偏位するために心臓から出てくる大血管に気管が圧迫されやすくなり、気管形成で気管を太くしても換気不全が続く可能性が考えられます。本研究は、片肺低・無形成を合併した先天性気管狭窄症に対して、本来大動脈の後ろにある気管を大動脈前方に移動させてスライド気管形成術という方法で気管を太くすることで、術後の合併症を防ぎ、生存率を向上させることができたかどうか、またその問題点が何かを明らかになることが期待できます。

5 協力をお願いする内容

診療録及び画像を閲覧させていただきます。

6 本研究の実施期間

西暦 2015 年 9 月 25 日～2015 年 10 月 31 日 (予定)

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ(匿名化データ)として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切開示いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

兵庫県立こども病院 外科 横井暁子

電話 078 732 6961

Eメール yokoi_kch@hp.pref.hyogo.jp

以上